



# GE の 2015 年第 1 四半期業績発表

- GE キャピタルの事業縮小による影響を除いた 1 株当たりの営業利益 (EPS) は 6% 減の 0.31 ドル
- 1 株当たりの営業利益 (EPS) は -1.08 ドル
- 継続事業による今期 GAAP EPS は -1.13 ドル、継続事業を含む正味 EPS は -1.35 ドル

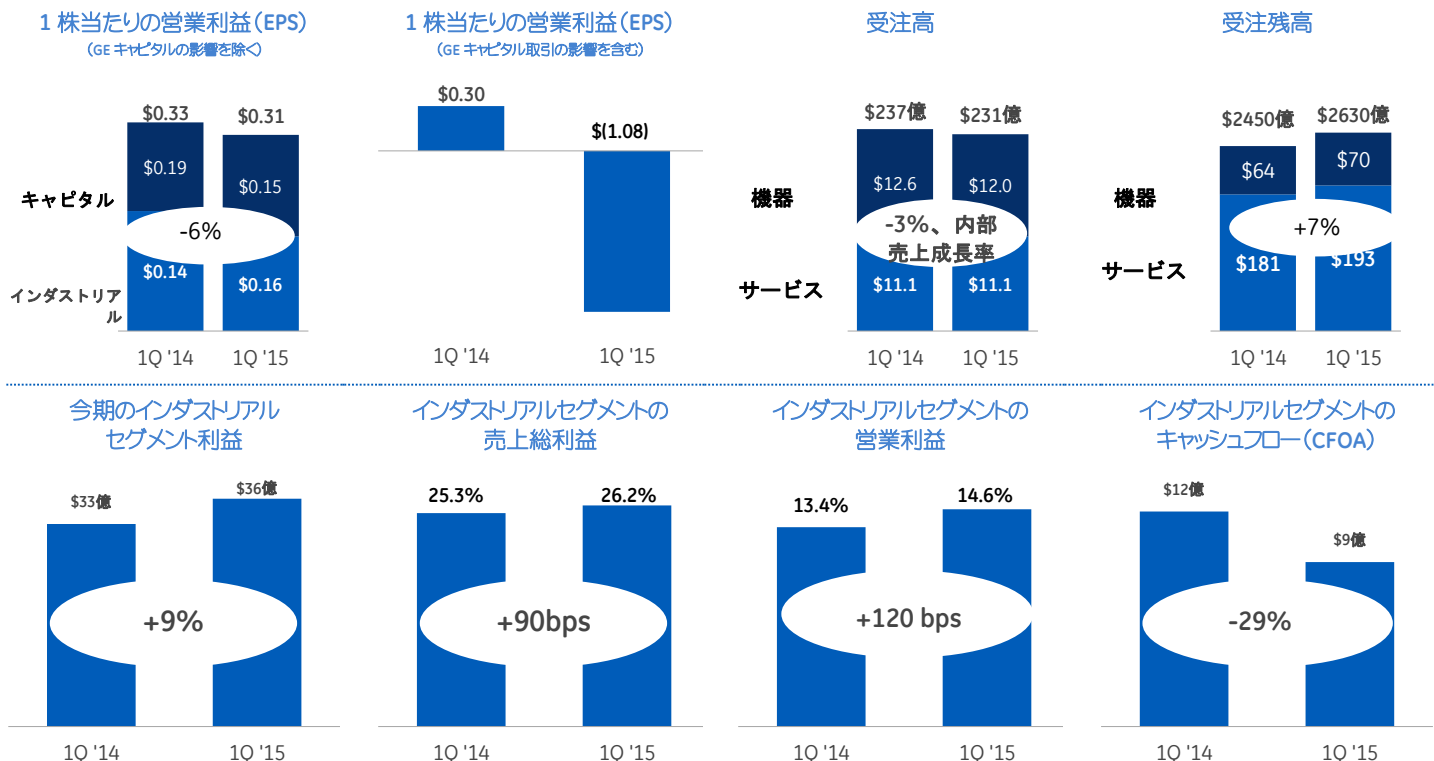
1 株当たりの営業利益 (EPS)			インダストリアルセグメント		
インダストリアル	キャピタル	GE CFOA	売上	営業利益	利益率
<b>\$0.16</b>	<b>\$(1.25)</b>	<b>\$13 億</b>	<b>\$244 億</b>	<b>\$36 億</b>	<b>14.6%</b>
+14%	GE キャピタル撤退による影響を除くと \$0.15 -21%	-23%	-1%、 内部売上成長率は +3%	+9%	+120bps

## 2015 年第 1 四半期の決算ハイライト

- インダストリアルセグメントの利益は 7 部門中 5 部門で増加
- インダストリアルセグメントの売上は -1% の 244 億ドル、内部売上成長率は 3% 増、為替の影響が最大 9 億 5 千万ドル
- オイル&ガス事業の売上は横ばいで、内部売上営業利益が 11% 増
- インダストリアルセグメントの売上総利益率は +90 ベースポイント増の 26.2%
- インダストリアルセグメントの営業利益率は +120 ベースポイント増の 14.6%
- インダストリアルセグメントの成長市場における売上は 6% 増で、中東、ラテンアメリカ、アフリカ、中国、インドでの売上が多い
- 受注残高は過去最高の 2,630 億ドル、前年同期比で 7% 増
- GE キャピタルの流動性資産を除く期末純投資額 (ENI) は、前年比 19% 減の 3,030 億ドル
- 2015 年度のインダストリアル EPS の目標、1.10~1.20 ドルに向けて順調に推移

「まだ不透明な環境ではありますが、インフラストラクチャは引き続き成長機会があるため、GE の第 1 四半期業績は堅調でした。今期は GE にとって重要な四半期でした。インダストリアル事業は好調で、1 株当たり営業利益 (EPS) で 14% 増を達成しました。先週、GE は GE キャピタルの大半の資産を売却することで、よりシンプルで価値の高い企業になるという新しい計画を発表しました。これにより、GE の強みであるインダストリアル事業に重点を置くための重要な一歩を踏み出し、新しい GE が誕生します。」

ジェフ・イメルト  
会長兼 CEO



## インダストリアル事業の取引に関するハイライト

- **オイル&ガス:** Eni からガーナでの Offshore Cape Three Points プロジェクト用に 8 億 5,000 万ドル分の機器の注文
- **トランスポート:** 100 両の機関車をアンゴラに納品する契約
- **パワー&ウォーター:** 1.5 GW の発電機器をガーナに提供する契約
- **パワー&ウォーター:** ラテンアメリカでの HA ガスタービン受注
- **アプリケーション:** 8 億ドルの LEAP<sup>1</sup> エンジンの受注、12 億ドルの GE90/GE9X エンジンの受注
- **インダストリアルインターネット:** 世界的な石油会社との間で重要な油田資産を最適化するためのソフトウェア契約を締結
- **ヘルスケア:** バイオプロセスの売上は 26% 増
- **エナジーマネジメント:** パワーコンバージョンの売上は 6% 増
- **ライティング:** Walmart、Amazon、Under Armour のプロジェクトにより、LED の売上は 76% 増

<sup>1</sup> LEAP は Snecma と GE が 50% ずつ出資した合弁事業、CFM International の商標

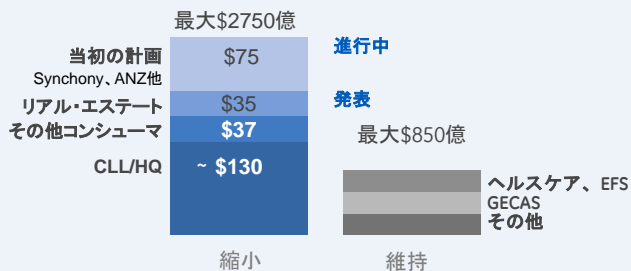
## GE キャピタルのポートフォリオ戦略

### 計画

- インフラストラクチャと技術を重視した企業作りを目指して計画を実行
- 金融資産から価値を創出するには最適な環境
- 265 億ドルのリアル・エステート取引を発表
- 2018 年までに最大 350 億ドルの資本を親会社に返却<sup>2</sup>
- 「2015 年」～2018 年までに、配当、自社株購入、シンクローニーによって 900 億ドル以上を株主還元できる見込み<sup>2</sup>

### 2014 年第 4 四半期の ENI (流動性資産を除く)

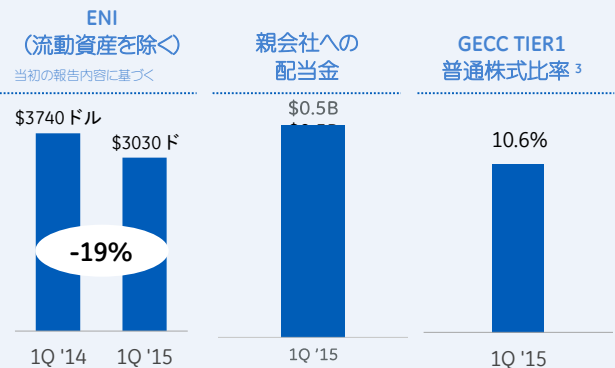
当初の報告内容に基づく



<sup>2</sup> すべての取引は規制承認の対象

## 2015 年第 1 四半期 GE キャピタルのハイライト

2015 年第 1 四半期	
<b>GE キャピタルの利益概要</b>	
営業利益 (GE キャピタル縮小による影響を除く)	\$15 億
縮小	\$(141 億)
継続事業	\$(125 億)
非継続事業	\$(22 億)
報告済み	\$(147 億)



<sup>3</sup> Basel 3 Tier 1 普通株式比率は、米国の標準暫定基準に基づく。



2018 年までに、高付加価値のインダストリアル事業が GE の全利益の 90% 以上を占めるようになる。

「新しい GE を形作るための明確な計画を立てました。今後 24 ヶ月以内にほとんどの GE キャピタル資産を売却することで、2018 年にかけて配当、自社株購入、シンクローニー株式交換で投資家の皆様に 900 億ドル以上を還元できる可能性があります。インダストリアル事業は好調で、GE Store による強みをさらに強化すべく、引き続き投資を行ってまいります。今後も利益率と投資回収率を向上します。これは GE が成長スピードの速い、ハイテク企業として生まれ変わるための計画です。」

ジェフ・イメルト  
会長兼 CEO

## 2015 年第 1 四半期のハイライト

### 報告済み

営業利益		
利益	EPS	
<b>\$(109)億</b>	<b>\$(1.08)</b>	
継続事業による GAAP 利益 (GE に帰属するもの)		
利益	EPS	
<b>\$(114)億</b>	<b>\$(1.13)</b>	
GAAP ベースの純利益 (GE に帰属するもの)		
利益	EPS	
<b>\$(136)億</b>	<b>\$(1.35)</b>	
売上		
売上	インダストリアル事業の 売上	GECC
<b>\$294 億</b> -12%	<b>\$238 億</b> -1%	<b>\$60 億</b> -39%

### GE キャピタルの撤退 による影響を除く

営業利益		
利益	EPS	
<b>\$31 億</b> -5%	<b>\$0.31</b> -6%	
継続事業による GAAP 利益 (GE に帰属するもの)		
利益	EPS	
<b>\$27 億</b> -10%	<b>\$0.27</b> -7%	
純利益 (GE に帰属するもの)		
利益	EPS	
<b>\$28 億</b> -7%	<b>\$0.27</b> -10%	
売上		
売上	インダストリアル事業の 売上	GECC
<b>\$331 億</b> -3%	<b>\$238 億</b> -1%	<b>\$97 億</b> -7%

第 1 四半期の業績を  
本日 ET 時間 8:30 a.m.から  
ウェブキャストで配信

[www.ge.com/  
investor](http://www.ge.com/investor)

本書には一般会計基準 (GAAP) に基づかない財務情報も含まれています。GAAP ベース以外の指標の説明と照合については、添付の補足情報をご覧ください。

別紙の財務諸表には当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報が含まれています。

関連するチャートを GE のウェブサイトに掲載しています。

GEの投資家向けウェブサイト [www.ge.com/investor](http://www.ge.com/investor)、コーポレート・ブログ [www.gereports.com](http://www.gereports.com)、当社のFacebookページおよびTwitterアカウント (@GE\_Reportsを含む)にはGEに関する情報のほか、財務や投資家の皆さま向けの情報が多数掲載されています。これらのウェブサイトにおいて、情報の更新および新たな情報掲載がなされるため、投資家の皆様には随時ウェブサイトをご覧くださいことを推奨いたします。

## 「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」、「予想する」、「つもりである」、「計画する」、「信じる」、「探し求める」、「見込む」、「～であろう」、「～だろう」、「～を目指す」といった言葉を含むことがよくあります。将来予測に関する記述は、金融サービス事業の規模縮小について発表済みの計画と、この計画に伴う現金および現金以外の料金、収益予想、1株当たりの収益、売上、内部売上成長率、利益率、コスト構造、再編費用、キャッシュフロー、資本回収率、資本分配または資本構造、配当、インダストリアル部門とGEキャピタルの利益配分など、様々なレベルで不確定な事項を含んでいます。GEの実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、発表済みの金融サービス事業の規模縮小計画に伴う規制確認または承認、その他の同意や承認の取得(またはその時期);この計画の一環として段階的な資産売却を適時(または実際に)、そして予定していた価格で完了する能力;金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む法律や財務状況の変化と、これらがこの計画の一環として段階的に資産を売却する能力やその価値、この計画の他の側面に及ぼす影響; GECCの資金調達の可能性やそれに伴う費用、取引先に対するGECCのリスクに影響を及ぼす、経済・金融市場の状況; 法人金融・個人向け金融が債務不履行(デフォルト)になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移; 当社の損失可能性見積もりを含む債務予想に影響を及ぼし得るWMCのモーゲージローン融資に関する係争中または将来的な請求・訴訟、当社が現在の信用格付けを保持できる能力; 当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響; 四半期配当を計画どおりに実施する、もしくは自社株買いを計画どおりに実行する当社の能力に影響を及ぼし得る当社のキャッシュフローや利益およびその他の状況; GECCからGEへの計画どおりの配当金支払い実行能力に影響を及ぼし得るGECCのキャッシュフロー、金融サービス規制や監督その他の要因; 内定受注(コミットメント)/落札の成約率; 定価での内定受注/落札後の実際の受注価格; 当社の客先である主要産業からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況に影響を及ぼす可能性がある航空機の早期廃棄やエネルギー需要の低下などの顧客の動向や展開; GEのリスク管理フレームワークの効果; 法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響(金融関連法令や訴訟の影響を含む); Synchrony Financialのスプリットオフを予定どおり行うことができないような市場環境の悪化、必要な銀行規制承認を取得する時期や能力、その他GEやSynchrony Financialに関連する要因; 自社株買い戻しや買収・合併事業・売却などの戦略的行為の時期や規模などに変更を生じさせ、影響を及ぼす可能性のある当社の資本配分計画; Alstom、アプライアンス、リアル・エステートとの取引や提携などの発表済みの案件完了とそれによって予想している利益とコスト削減効果を実現する能力; 買収した事業の統合や合併事業の成功; 情報技術またはデータセキュリティ侵害が発生した場合の影響; 2014年12月31日終了年度のForm 10-K年次報告書で「リスク要因」として記載したその他の要因が含まれます。こうした不確実性により、将来におけるGEの実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GEは「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

この文書には「将来予想に関する財務情報」、すなわち現在と将来の予測に基づく情報が含まれています。実際の業績はこれとは実質的に異なる可能性があります。

### 本件に関するお問い合わせ

日本GEコーポレート・コミュニケーション本部

TEL: 03-3588-9500